

まちの

くずまきワイン「ゆうパック」 今年も3300セットを全国へ

葛巻高原食品加工株式会社（代表取締役社長・中村哲雄町長）では12月18日、クリスマスゆうパックの出発式をJA新しいて野菜集荷場で行いました。

この日荷積みしたのは、ナドーレロゼ・白2本入り（送料込み2,500円）約3300セット。北は北海道から南は沖縄まで全国各地に届けられます。

中村町長は、「ゆうパックが起爆剤となり、ワインと町の情報発信をしていきたい」とあいさつ。同社では、今期総売上げ3億5000万円を目指しています。



ゆうパック出発式でテープカットを行う左から引田喜徳葛巻郵便局長、中村哲雄町長、岩泉恵介副社長



ニュース番組は「正確に」「分かりやすく」「速く」が基本という風見さん（円内）のお話にも耳を傾ける小田小の児童たち

小田小学校の親子たちが テレビ放送の仕組み学ぶ

小田小学校（目黒泰校長・児童二百二十一人）では十二月四日、IBC岩手放送の風見好栄アナウンサーを招き、「放送局とアナウンサーの役割」についてのお話を聴きました。

これは、家庭教育学級の一コマ。同校の親子や教職員ら約四十人が、熱心に耳を傾けました。風見さんは、「ニュース番組のキャスターは、男性でもお化粧するんですよ」といった裏話や、取材先での苦労や失敗談などを交えて分かりやすくお話ししました。

児童たちは、「これからは、番組づくりに携わる人たちのことを考えながらテレビを見ていきたい」と感想を述べていました。

火災が多発するシーズン 火の元には十分な注意を

火災予防は、一人ひとりの心がけと家族やご近所の協働体制が必要です。日ごろから次のことに注意を払い、火の用心に努めましょう。

- 火のまわりは、いつも整理整頓をする。
- ストーブや電気コンロなどは、本来の目的以外には使わない。
- コンセントのタコ足配線はしない。
- 灰皿は、縁の広いものを使い、水を入れておく。
- 子どもの手の届くところにマッチやライターなどを置かない。
- 寝る前に必ず火の元を確認する。
- 家を留守にするときは、ご近所に一声かけて出かける。
- 万が一のときは、消火より避難を最優先することが大切です。

